

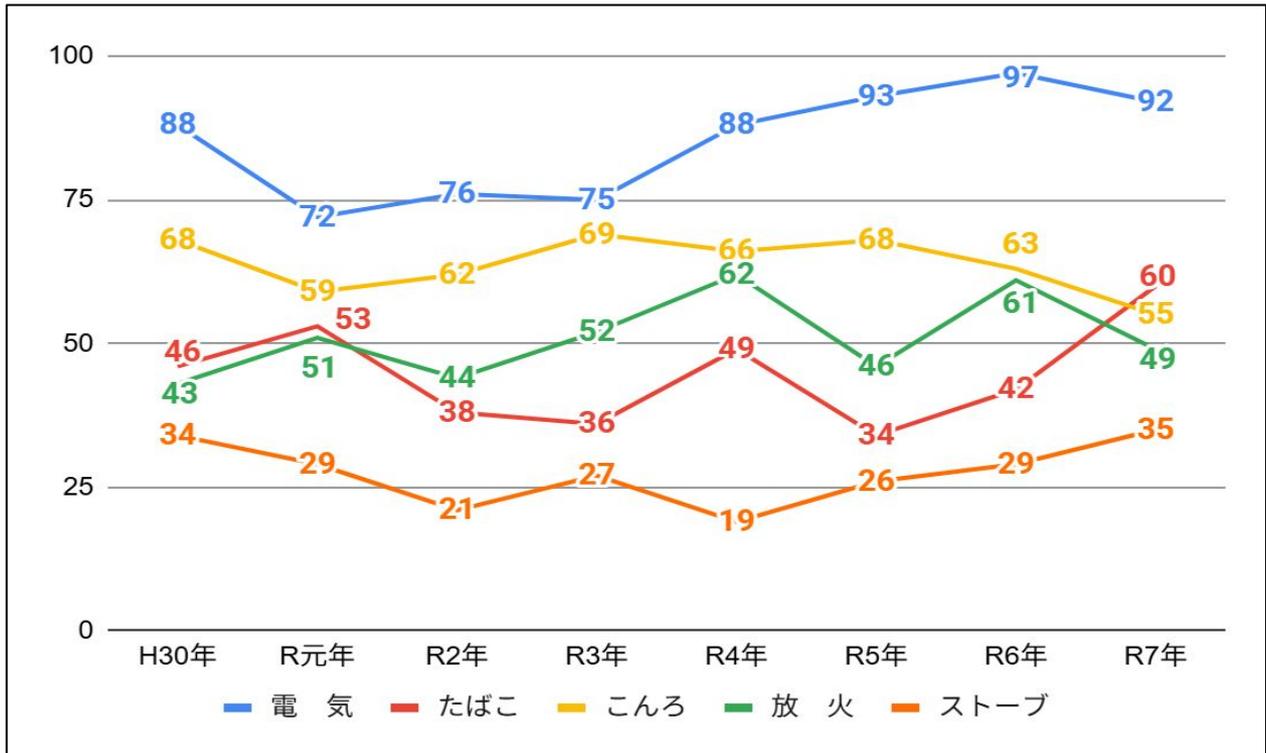


# 電気火災を防止しましょう！



電気火災は、延長コード、家電製品、住宅や車の配線関係など、電気に関係するものから出火した火災を言い、札幌市では8年連続で火災原因の1位となっています。

《過去8年間の火災原因別の推移》※上位5つ

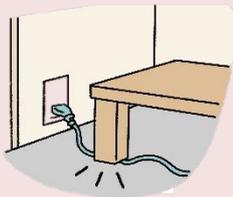


電気は、私たちが暮らすうえで欠かすことのできない、身近で大切なエネルギーの1つですが、普段何気なく使っている延長コードや家電製品なども、ちょっとしたことで火災となる危険性があります。

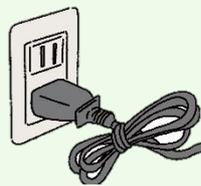
ここでは、火災が多い延長コードなどの配線類と増加傾向にあるモバイルバッテリーなどの充電式電池の火災予防方法をお伝えします。

## 【配線類からの火災を防ぐポイント】

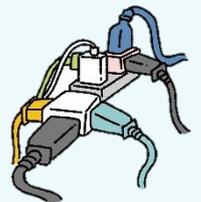
・重い物の下敷きにしない。



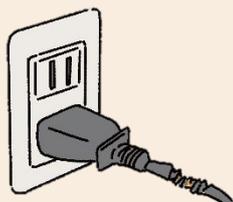
・コードを束ねて使わない。



・たこ足配線をしない。



・コードが傷んだものを使わない。

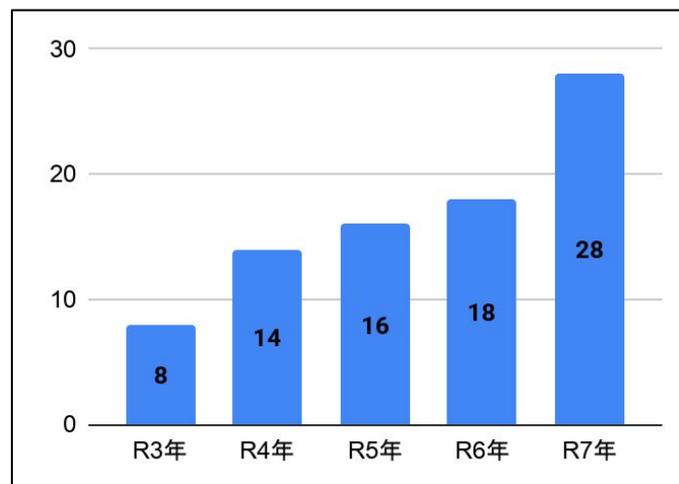


・コンセントにほこりを溜めない。



# 充電式電池の火災が増加中！

《札幌市における充電式電池の火災件数の推移》



充電式電池は、モバイルバッテリーなどの製品に使われており、何度も繰り返し充電・放電ができる電池です。

リチウムイオン電池など様々な種類がありますが、ここ数年、充電式電池内蔵の製品が普及したことに伴い、充電式電池の火災が増加傾向にあります。

## 充電式電池が使われている製品の一例



火災に至る要因は、メーカー指定の充電器やバッテリー以外を使っていたことや落下などの強い衝撃・負荷をかけていたことなど様々ですが、火災危険がないか日常から確認しておくことが重要です。

## 【充電式電池の火災を防ぐポイント】

- 取扱説明書で、使用方法や注意事項を確認する。  
使用方法や注意事項を守っていますか？
- メーカーが指定する充電器やバッテリーを使用する。  
充電口が合うかといって違う充電器で充電してませんか？  
非純正のバッテリーを使ってませんか？
- 強い衝撃を与えない。  
首掛け紐などで落下させない措置をしていますか？  
ポケットなどに入った製品に負荷がかかってませんか？
- むやみに分解・修理・改造をしない。  
調子が悪くても、自分で分解・修理は危険です。
- 廃棄のルールを確認し、適切に廃棄する。  
廃棄方法は、札幌市環境局ホームページで確認しましょう。



札幌市環境局HP